

道を拓き、山を守る

吉野林業の盛衰と再生

 **放送大学**
栃木学習センター
公開講演会

日本最古の人工造林と言われる吉野美林は、
約500年にわたり培われた造林技術と山主より林地の
管理運営を託された山守の制度によって育まれてきた。
しかし、1980年以降、林材価格の下落から
その制度は崩壊し山林荒廃が顕在化し始めた。
経済活性と環境保全を両立する持続可能な林業方式とは？
長年にわたる吉野林業の盛衰に関する体験談を通じて、
日本の林業の再生を共に考えたい。



講師 **岡橋 清隆氏**

奈良・吉野の五大林家の一つ岡橋家の次男として生まれる。1980年をピークに吉野林業特有の山守制度が危機に瀕し、山林の荒廃が顕在化し始めた時に、山に入り道づくりに取り組み始める。傾斜地に路網造成事業に立ち上がる。多様な課題の克服のため、大橋慶三郎氏より高密林内路網を創るための技術を習得する。現在、吉野林業地帯をはじめとした林地に高密林内路網を導入しようと、後進の育成を含めて精力的に取り組まれている。

2025年2月1日(土)

参加費：無料 **10:00~12:00**

定員：100名(先着順)

会場：放送大学栃木学習センター2階大講義室
宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス内)

連絡先：028-632-0572 放送大学栃木学習センター

※Zoomによりオンライン配信予定

申し込み方法

URLまたはQRコードから

フォームに入り
必要事項を記入し
送信してください。



URL: <https://forms.gle/CgDqaJ59ddaHKG1w8>